

【別紙様式】

釜石市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	三陸鉄道運営支援事業（コロナ対策分）		
総事業費 (千円)	12,109千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	12,109千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症による利用客の減少により大幅な減収が見込まれ、運行本数の維持に支障を及ぼすことが懸念されることから、三陸鉄道の安定運行を確保するため、運行維持に要する経費を支援する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 人件費や内燃動力費など三陸鉄道の運行維持経費として支援金を交付する。 なお、釜石市のみならず、岩手県や沿線市町村が費用を按分して交付する。 支援金（釜石市負担分） 12,109千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 三陸鉄道株式会社 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 三陸鉄道は、岩手県沿岸地域の基幹的な地域交通であり、地域住民の生活の足として、さらには当地域を訪れる観光客の移動手段、観光資源の一つとして機能している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光を中心に団体客、個人客とも大幅に減少し、業績が悪化するなど経営環境も厳しい状況に置かれていることから、運行事業者である三陸鉄道株式会社に対して、支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 三陸鉄道の運行継続により、通院、通学、買い物など地域住民の生活基盤が確保され、当地域の住民の暮らしが守られるだけでなく、個人及び団体など観光目的での利用促進による交流人口の拡大など低迷する地域経済の回復、再興が期待される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>三陸鉄道の運行停止は、三陸沿岸地域の住民の生活のみならず、観光面など地域経済にも多大な影響を及ぼすことから、地域公共交通の維持存続、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要の喚起及び誘客促進による地域経済の活性化を図る観点から、運行事業者である三陸鉄道株式会社に支援金を交付するものであり、事業者支援並びに地方創生に資するものとして地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		